

全体	5
個別	02-01

令和元年度 [しまづくり推進部] 組織目標

課名	政策企画課
----	-------

総合計画 の区分	挑 戦	対象外
	最優先課題	対象外
項 目	第2次対馬市総合計画の進捗管理の実施	
内 容	平成28年度から開始した第2次対馬市総合計画を推進するため、外部委員で組織する総合計画審議会において、各施策の進捗状況や目標の達成状況、事業内容について検証し、計画の見直しに向けて取り組みます。	
指 標 (数値目標)	【達成年度】 ●施策の進捗状況・目標の達成状況の把握、事業内容の検証 ⇒総合計画審議会の開催1回 ●計画の達成年度：中間 令和2年度、最終 令和7年度 【今年度】 ●計画の期間：平成28年度～令和7年度の10年間 ●計画の見直し：令和2年度	
達成時期	令和3年3月	
スケジュール	取り組み	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月
	総合計画審議会の開催	●
	平成30年度事業実績の調査	➡
	平成31年度事業計画の調査	➡
	総合計画における各施策の実施	➡
	計画見直しに向けた事前検討	➡

全体	6
個別	02-02

令和元年度 [しまづくり推進部] 組織目標

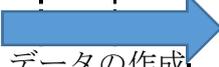
課名	政策企画課
----	-------

総合計画 の区分	挑 戦	ひとづくり、なりわいづくり												
	最優先課題	複数（人口減少対策）												
項 目	第1期対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証及び第2期戦略の策定													
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ● 「第1期対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の5年間の実績に基づき各分野の達成度等の効果検証を行います。 ● 上記の結果を基に未達成分野における新規施策、事業等を検討し、人口減少抑制のための令和2年度から5ヶ年間の「第2期対馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。 													
指 標 (数値目標)	<p>【達成年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 戦略の期間：第1期戦略（平成27年度～令和元年度） ● 最終的なKPIの達成年度：令和元年度 ● 第2期総合戦略の策定：期間（令和2年度～令和6年度） <p>【今年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第1期総合戦略に掲げる施策の実施状況、各重点戦略に掲げるKPIの達成状況の把握と検証⇒総合戦略推進会議の開催1回 ● 第2期総合戦略策定⇒総合戦略推進会議の開催3回 ● KPI達成のための地方創生推進交付金の新規申請件数3件 													
達成時期	令和3年3月													
スケジュール	取り組み	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	総合戦略推進会議の開催			●			●		●		●			
	市議会全員協議会の開催			●						●				
	第2期総合戦略策定に向けた庁内会議及び調査			→										
	令和2年度地方創生推進交付金新規事業の活用			各課への申請予定事業調査及び国への事前相談							→ 国への申請			

全体	7
個別	02-03

令和元年度 [しまづくり推進部] 組織目標

課名	政策企画課
----	-------

総合計画	挑 戦	つながりづくり
の 区 分	最優先課題	島内外の移動手段を確保する
項 目	国際航路の国内旅客混乗便の利用促進	
内 容	<p>釜山と福岡間を結ぶ国際航路へ国内旅客を相乗りさせる混乗便は、対馬北部市民の生活利便性の向上と福祉の充実を目的に運航を開始し、対馬北部からの交通手段として大きな役割を果たしています。</p> <p>しかし、平均乗船率は当初の目標に達していないことから、定期航路として運航ができず、このままの乗船率が続くと存続が難しくなります。</p> <p>そのため、本航路の利用促進と対馬北部への国内旅客の誘客を目的として、福岡市を中心としたテレビ、ラジオやデジタルサイネージを活用して周知を行います。</p>	
指 標 (数値目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・九州郵船（株）、JR九州高速船（株）、対馬市の3者でその他利用促進についての協議を実施 ・九州運輸局との協議及び相談 ・島外国内旅客へ向けた周知 <ul style="list-style-type: none"> ・利用客が多く見込まれる期間前に、島外旅客に向けて周知を行います。 ・平均乗船率を上げます。 ・定期ダイヤで運航します。 	
達成時期	令和2年3月	
スケジュール	取り組み	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月
	航路事業者との協議	 打合せ
	画像、音声データの作成	 データの作成
	島外への国内旅客向け周知	 周知
	3者協議	 その他利用促進について協議

全体	8
個別	02-04

令和元年度 [しまづくり推進部] 組織目標

課名	しまの力創生課
----	---------

総合計画	挑 戦	なりわいづくり
の 区 分	最優先課題	ワクワクする新しい仕事の創造
項 目	様々な機関や業種団体と連携した産業の振興	
内 容	<p>事業者団体、金融機関、大学などの研究機関、行政、その他産業振興に携わる団体等で構成する「対馬市創業支援会議」において、創業を希望する方を多方面から総合的に支援し、産業振興と雇用の増加により地域の活性化を目指します。</p> <p>また、有人国境離島法に基づく雇用機会拡充支援事業補助金を交付し、雇用を伴う創業や事業拡大を行う民間事業者の支援を行います。</p>	
指 標 (数値目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワンストップ相談窓口等での相談受付 : 40件 ・ 創業の目標件数 : 8件 ・ 被雇用者の増加目標人数 : 24名 <p>※ 創業等支援事業と雇用機会拡充支援事業の合計での目標数値</p>	
達成時期	令和2年3月	
スケジュール	取り組み	4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月
	ワンストップ相談窓口等の相談受付	
	創業支援セミナー	

全体	9
個別	02-05

令和元年度 [しまづくり推進部] 組織目標

課名	しまの力創生課
----	---------

総合計画	挑 戦	ひとつづくり
の 区 分	最優先課題	外から若者を招き入れる
項 目	大学と地域との連携推進（域学連携）	
内 容	<p>大学が身近に無い対馬において、大学が身近に感じられるような環境を整え、都市部学生の若い力や教員の知識・ノウハウ等によって島づくりの後押しをしていただくとともに、島づくりを担う移住定住人財の誘引、対馬ファン・リピーターの確保を行うことで、対馬の新たな価値と産業を創造します。</p>	
指 標 (数値目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の受入数 500名 ・大学教員（研究者）の受入数 100名 ・リピート学生の受入数 200名 ・学生卒業後の移住定住数 年1～2名 ・せんだんご速醸実証の成功 (酵素・麹カビ両方の方法で2週間程度でせんだんごづくり完了) 	
達成時期	令和2年3月	

スケジュール	取り組み	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	学術研究奨励		公募・審査			研究活動			島内発表			成果まとめ	
島おこし実践塾						●	●						
学生実習・インターンシップ					← 立教・文教・釜山外国語大学等 →								
せんだんご速醸実証						●		●		●			
対馬学フォーラム (対馬への成果発表の場)										●			
大学の合宿、調査研究等の受入		← 県立大 →			県立大・立大等			→					
域学連携推進強化意見交換会					●			●					
					第1回			第2回					

全体	10
個別	02-06

令和元年度 [しまづくり推進部] 組織目標

課名	しまの力創生課
----	---------

総合計画	挑 戦	つながりづくり											
の 区 分	最優先課題	人と人とのつながりを守る											
項 目	地域マネージャー活動活性化事業												
内 容	<p>「地域自らが考える将来ビジョン」である『地域づくり計画』は181行政区中89行政区分30計画、『行動宣言』は99行政区分55宣言の策定に留まっています。これは、地域課題の多様化・複雑化などが主な要因と考えられます。</p> <p>29年度に担当校区を再配置するなど地域と地域マネージャーが「つながる」しかけ作りを行い、30年度には「話し合いの大切さ」を認識するための研修会を開催しました。今後も引き続き「つなげるためにつながる」をテーマに制度活性化に向けて情報提供や情報共有を図ります。</p> <p>また、わがまち元気創出支援事業を含めた地域支援策の洗い出しを行い、地域の現状に即した新たな地域支援策を検討します。</p>												
指 標 (数値目標)	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な校区会議を開催し、情報提供及び情報共有に努めます。 地域マネージャーと地域との「つながり状況」を定期的に把握し必要に応じてサポートを行います。 対馬市市民協働（共働）推進本部会議を開催し、全庁的な活性化に向けた気風をつくります。 「地域づくり計画」「行動宣言」の新規策定 10地区 												
達成時期	令和2年3月												
スケジュール	取り組み	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	校区会議・研修会			●							●		
	地域マネージャー活動状況把握およびサポート	→											
	対馬市市民協働（共働）推進本部会議開催						●						
	新たな地域支援策の検討	→											
	先進地視察			●									

